



練馬区は「住みよい」などの肯定的な評価が、9割台半ばを占め、この3年間で着実に増加しています

～平成28年度練馬区区民意識意向調査結果を公表～

練馬区は、区政運営の参考にするため、さまざまな行政課題について区民の考えを伺う区民意識意向調査を毎年度行っている。

このたび、区内在住の20歳以上の方3,000人を対象に、区の施策および評価や区政の改革などについて、調査を行った。

その結果、練馬区が「住みよい」「まあ住みよい」と感じている方が9割を超えた。こうした「肯定的評価」は、この3年間の経年比較においても着実に増加している。特筆すべきは、「否定的評価」が減少していることである。住みよいと感じる理由では、「みどり豊かで環境がよい」「交通の便がよい」「買い物しやすい」の順となっている。

特に力を入れてほしい施策では、区施策28項目中、「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」が2年連続で1位となり、以下、「交通安全対策」「高齢者福祉」「子育て支援」「駅周辺のまちづくり」の順となった。

区民参加と協働についての質問では、地域で活動を進める方法として、「既存の団体に参加する」(45.7%)と「自ら団体を立ち上げる」(4.2%)を合わせ約5割の方が地域活動に関心をもっていた。協働を進めるうえで区に求めるものとして「区民と区との意見交換の機会づくり」が最も多い。区ではこれまでも、「練馬の未来を語る会」や「ねりまビックバン」など意見交換会を行ってきた。今後も、意見交換の機会を増やし、区民参加と協働を進めていく。

区では「みどりの風吹くまちビジョン」に基づき、地下鉄大江戸線の延伸や都市計画道路の整備、高齢者福祉、子育て支援などの施策に取り組んでいく。また、区政改革の一つに「区民参加と協働」を据えている。地域の中では、まちの課題を自分たちの力で解決しようと活発に活動している区民や団体がたくさんいる。そうした人たちの活動がより活発に行われるように自主的な活動を支援していく。

【主な調査結果】

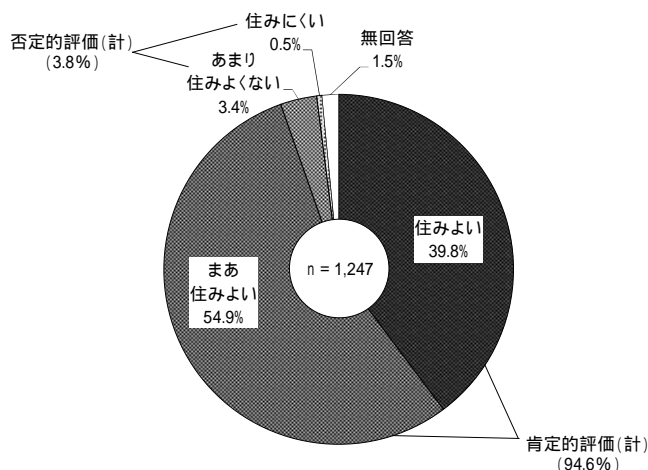
1 区の施策および評価について

(1) 住みごころ

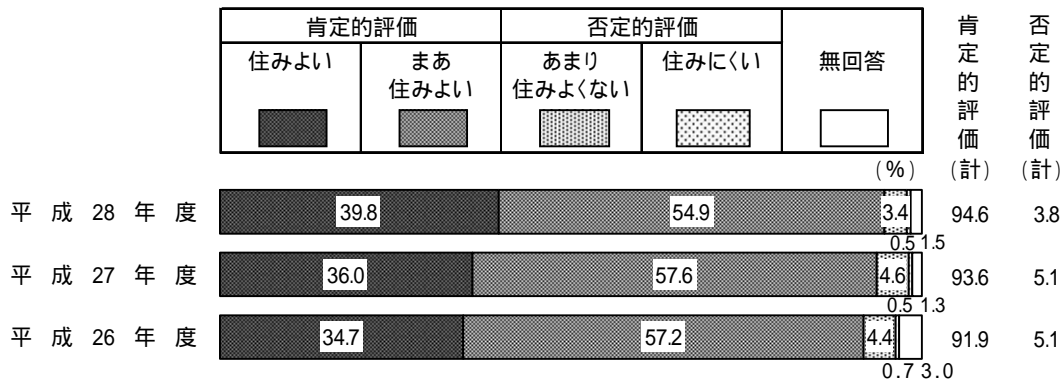
平成28年度の調査結果は「住みよい」(39.8%)と「まあ住みよい」(54.9%)を合わせた『肯定的評価』(94.6%)が9割台半ばを占めている。(図1)

平成26年度から、過去3年間の比較をすると、『肯定的評価』は前回調査(平成27年度)より1.0ポイント増加し、平成26年度から増加傾向にある。(図2)

(図1：平成28年度)



(図2：経年比較)

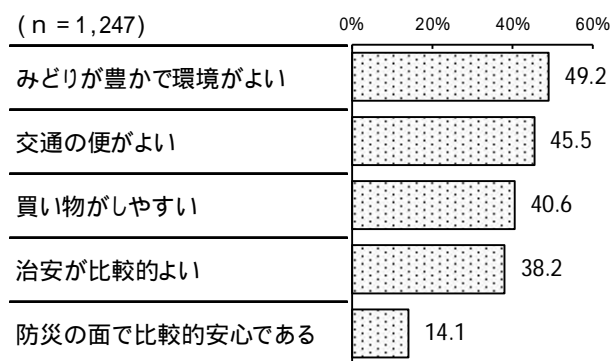


(2) 住みよいと感じるところ

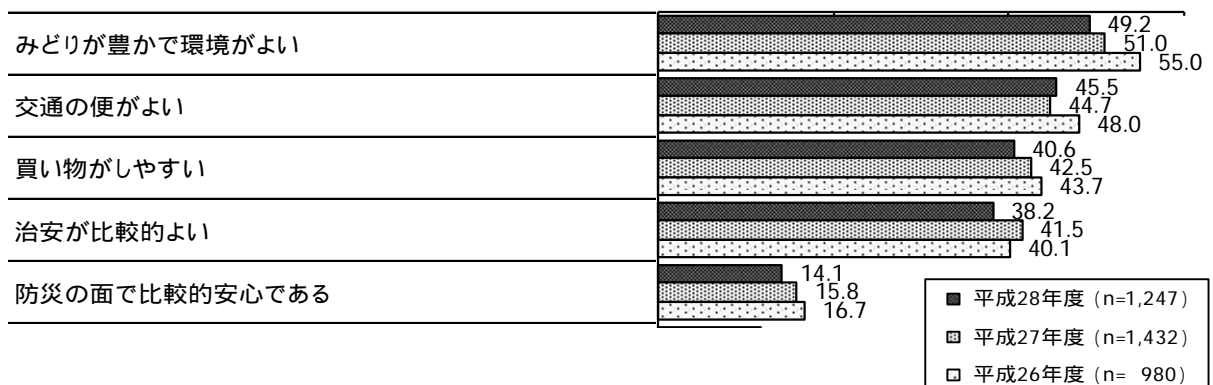
「みどりが豊かで環境がよい」(49.2%) が約5割で最も多く、次いで「交通の便がよい」(45.5%)、「買い物がしやすい」(40.6%)の順になっている。(図3)

平成26年度から、過去3年間の比較をすると、「みどりが豊かで環境がよい」と感じている人の割合が最も多く、順位に変動は無かった。(図4)

(図3：平成28年度)



(図4：経年比較)



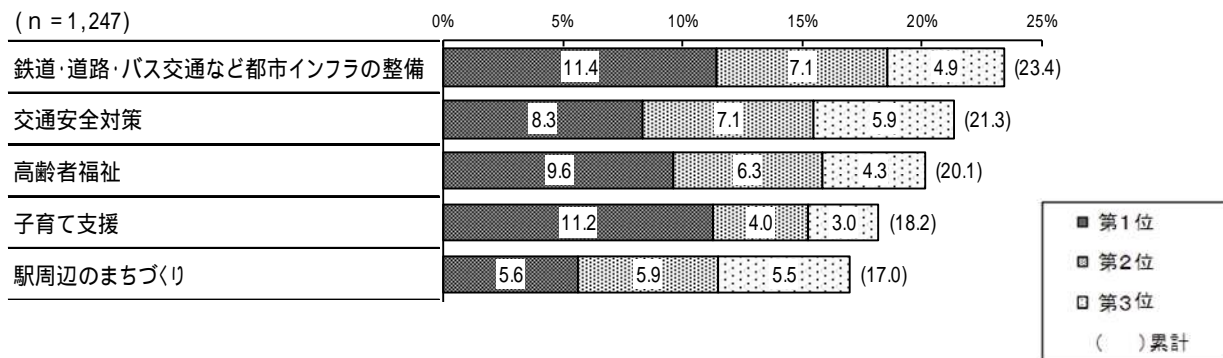
(3) 施策への要望

特に力を入れてほしい施策を第1位から第3位まで挙げてもらった。その3つの累計をみると、「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」(23.4%)が2割を超えて最も多く、次いで「交通安全対策」(21.3%)になっている。(図5)

過去3年間の比較をすると、「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」が2年連続第1位となっており、「交通安全対策」も平成27年度の3位から2位に順位を上げている。「交通安全対策」は、区施策の『不満評価』の1位にもなっている。区民は「交通安全対策」や「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」に力を入れてほしいと考えている。区は今後、「みどりの風吹くまちビジョン」に基づき、地下鉄大江戸線の延伸や都市計画道路の整備などに取り組んでいく。

「高齢者福祉」「子育て支援」についても施策の要望の上位に入っており、今後も「みどりの風吹くまちビジョン」に基づき、取り組んでいく。(図6)

(図 5)



(図 6)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
平成28年度	鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	交通安全対策	高齢者福祉	子育て支援	駅周辺のまちづくり
平成27年度	鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	高齢者福祉	交通安全対策	子育て支援	医療環境の充実
平成26年度	交通安全対策	高齢者福祉	子育て支援	医療体制の確立	道路や公共交通の整備

注1)「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」は平成26年度までは「道路や公共交通の整備」としていた。

注2)「駅周辺のまちづくり」は平成27年度から追加された選択肢。

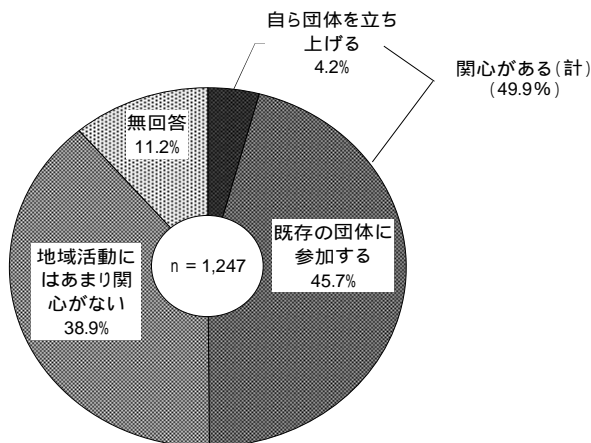
2 区民参加と協働について

(1) 地域で活動を開始する方法

「既存の団体に参加する」(45.7%)と「自ら団体を立ち上げる」(4.2%)を合わせた『関心がある』(49.9%)は約5割となっている。(図7)

区では、『関心がある』約5割の人たちが地域活動に参加しやすい環境や仕組み作りを行い、区民協働に結びつけていく。

(図7)

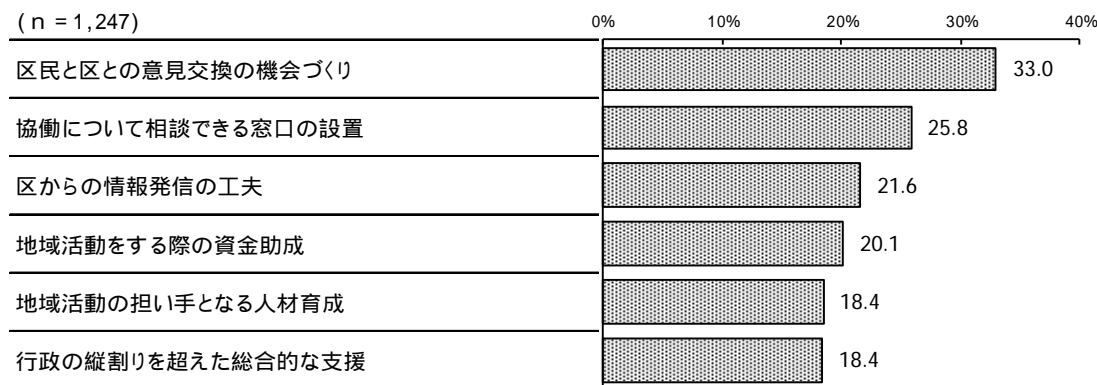


(2) 協働を進めるうえで特に区に求めるもの

「区民と区との意見交換の機会づくり」(33.0%)が3割を超え最も多く、次いで「協働について相談できる窓口の設置」(25.8%)、「区からの情報発信の工夫」(21.6%)の順になっている。(図8)

この結果から、協働を進めるために求められているものは、区との意見交換の機会や、相談窓口であることが明らかになった。

(図8)



【調査概要】

- ・調査対象：練馬区在住の20歳以上の方3,000人を住民基本台帳から無作為抽出
- ・調査方法：郵送による配布・回収
- ・調査期間：平成28年8月22日～9月9日
- ・回収数等：1,247件(回収率41.6%)
- ・調査項目：「区の施策および評価」「区職員の待遇等」「区民参加と協働」「みどり」

【報告書がご覧になれます】

区ホームページ「区政情報」の「統計・調査」では、平成29年2月13日から調査結果と概要版がご覧になれます。また、各地区区民館(高松を除く)、各区民事務所(練馬を除く)、出張所、各図書館(関町を除く)、青少年館、学校教育支援センター、男女共同参画センターえーる、区民情報ひろばで閲覧できます。

【問い合わせ】練馬区 広聴広報課 広聴担当係 電話03-5984-2693